

平成23年2月28日

# 札幌プライマリ・ケア連携懇話会

昨今 LDL-C高値患者への治療が話題となっている。まず食事療法が必要だが、「コレステロール摂取を減らす」が栄養学的に正しくないことは案外知られていない。また、糖尿病に関してわが国では脂質よりエネルギー摂取が重要視されており、カーボカウントなども使用されるようになった。しかし、栄養学的検証が必要である。今回の懇話会では、プライマリ・ケア医が日常診療で遭遇する脂質異常症および糖尿病患者への対処に関し、栄養学的見地からの望ましい指導法を紹介する。

日時：平成23年 2月 28日 (月) 19:00 ~ 20:30

会場：ホテルニューオータニ札幌 2階 鶴の間

札幌市中央区北2条西1丁目1-1 Tel：011-222-1111

Program 製品紹介 (18:50~19:00) クレストール錠について

講演1(19:00~19:30) 座長 NTT東日本札幌病院 糖尿病内分泌内科

部長 吉岡 成人 先生

## 脂質異常症への食事・薬物療法の実際

- 糖尿病・高血圧合併等の有無による対処法の違い -

カレスサッポロ 北光記念クリニック

所長 佐久間 一郎 先生

講演2(19:30~20:30) 座長 北海道大学 大学院 医学研究科 循環病態内科学

教授 筒井 裕之 先生

## 脂質異常症と糖尿病の栄養管理

- その理論・評価・対処法 -

東京大学 大学院 医学系研究科

公共健康医学専攻 社会予防疫学分野

教授 佐々木 敏 先生

閉会の辞(20:30~20:40)

社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 院長 櫻井 正之 先生

講演会終了後、情報交換会を予定しております

- ・本講演会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(1.5単位)として開催致します。カリキュラムコード:75(脂質異常症)・76(糖尿病)
- ・生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に『医籍登録番号』が必要です。受付時の記載にご協力頂きます様お願い致します。
- ・ご記入頂きました情報は、本講演会実施報告書の作成以外には使用いたしません。
- ・本講演会は日本糖尿病療養指導士認定機構の承認を得て、「日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会」として登録しています(第2群)認定番号10-1070、認定単位数0.5単位。参加証が認定申請に必要になりますので、認定希望者は当日必ず参加証を受付にてお受け取りください。
- ・本講演会は北海道栄養士会の承認を得て、生涯学習自己学習単位1単位として認定となります。参加証が認定申請に必要になりますので、認定希望者は当日必ず参加証を受付にてお受け取りください。

共催：北光記念病院 アストラゼネカ株式会社 塩野義製薬株式会社

後援：北海道医師会 札幌市医師会 北海道栄養士会

今回の札幌プライマリ・ケア連携懇話会は「プライマリ・ケア医が知っておくべき正しい臨床栄養学と食事療法指導法」をテーマと致します。

昨今、LDL-C 治療不要説が広まっており、医師も患者も困惑しています。確かに LDL-C が高いにも関わらず、薬物治療が不必要な患者が女性に多くいますが、LDL-C が高なくても動脈硬化の進展が早く、強力な薬物療法が必要な患者がいることも確かであり、何を基に薬物治療開始すべきかは重要な問題です。

また、食事および運動療法は脂質改善の基本です。しかし「総コレステロールが 240mg/dL を超えているので、コレステロールの多い食事を控えて下さい」という食事指導は誤りです。総コレステロールを指標にすべきではありませんし、最近の臨床栄養学的検証で日本人の LDL-C を増加させるのは、食事中のコレステロールではなく、飽和脂肪酸とトランス一価不飽和脂肪酸であることが明らかとなっています。

今回の懇話会では、最初に北光記念クリニック所長の佐久間一郎が、「脂質異常症への食事・薬物療法の実際—糖尿病・高血圧合併等の有無による対処法の違い」と題して、最新の食事解析ソフト BDHQ を利用した食事療法の実際を披露するとともに、脂質改善療法が必要である患者の弁別法、実際の治療効果、さらに脂質改善薬のインスリン感受性への影響について解説致します。

招待講演は、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学の佐々木敏教授に、「脂質異常症と糖尿病の栄養管理—その理論・評価・対処法」と題して御講演をいただきます。佐々木教授はわが国の臨床栄養学の第一人者であり、BDHQ の開発者でもあります。エビデンスに基づく栄養学を実践されています。例えば最近、わが国のトランス一価不飽和脂肪酸のデータをまとめ、それを基に食糧庁は海外と同様にその含有量を食品表示に加えることを決定しました。

佐々木教授からは、「脂質異常症と糖尿病において栄養管理が重要であることは広く認識されているであろう。ところが、「どのように？」となると、一般論（バランスのよい食事など）に走るか、自己流（または〇〇先生流といった個人技）に走ることが少なくなく、その根拠やその理論に対して十分に科学的知識を持っていないことが多いのではないだろうか。そこで今回は、人間栄養学、特に栄養疫学的な研究によって明らかにされた最近の知見を概観し、両疾患に対する基礎的な人間栄養学の知識とそれに基づく栄養管理の評価・対処方法について考えてみることにしたい。」とのコメントをいただいています。

今回の懇話会が先生方、管理栄養士や糖尿病療養指導士の方々の日常診療実践にお役に立てばと考えております

北光記念病院・クリニック地域連携室室長 佐久間一郎